

浅草や上野など東京都内多数の観光地を擁する台東区が官民挙げて訪日客の誘致に力を入れている。浅草周辺では外貨で買い物できる店が広がっているほか、区は区内全域の観光スポットに公衆無線LAN（構内情報通信網）「Wi-Fi（ワイファイ）」を整備。民間店舗のWi-Fiと同じパスワードで使えるようにする。滞在時の利便性を高め、一層の誘客を目指す。

上野・浅草 訪日客便利に

台東区、官民で取り組み

と提携し、米ドルとユーロで買い物できる仕組みを導入した。同社は訪日客が払った外貨を有利なレートで円と両替する。浅草新仲見世商店街などの飲食や土産物店など88店に導入が広がっており、今後もある見通しだ。

専用のステッカーが目印となる。ドルは100



台東区は浅草など訪日客にぎわう観光地を擁する

台東区内の訪日客誘致の取り組み

浅草商店連合会	一部店舗で米ドルとユーロで買い物が可能に
台東区	区内全域で無料Wi-Fi整備、民間店舗と相互利用へ 飲食店向けにハラル認証取得の費用支援 フェイスブックで英語、中国語、韓国語で情報発信

外貨も歓迎／Wi-Fi 40カ所

ルまで、ユーロも1000円までの紙幣が使える。換算レートは各店でそれぞれ設定し、おつりは日本円で渡す。クレジット

カードを受け付けない店が増えている。また、ドルで支払うケースなどがあるという。同連合会では「訪日客を歓迎し、観光案内板など区内

のアクセスポイントを設置する方針だ。民間のWi-Fiについては、浅草の商店街などで構成する浅草モバイルタウン協

議が8月、浅草駅周辺の店舗や事務所約100カ所を使って、訪日客が安心して区内で滞在できるように、9月はホテルや小売業向けにムスリムについて講習会も企画した。

同区の14年の外国人観光客数は前回調査の12年に比べ24%増の526万人と過去最高になった。23区で主要駅周辺で観光客向けに無料Wi-Fiを提供する自治体はあるが、区内全域を対象とするのは珍しい。区は10月から、飲食店向けにイスラム教の戒律に沿った「ハラル認証」

の取得費用を助成する制度も始める。ムスリムの訪日客が安心して区内で滞在できるように、9月はホテルや小売業向けにムスリムについて講習会も企画した。

同区の14年の外国人観光客数は前回調査の12年に比べ24%増の526万人と過去最高になった。23区で主要駅周辺で観光客向けに無料Wi-Fiを提供する自治体はあるが、区内全域を対象とするのは珍しい。区は10月から、飲食店向けにイスラム教の戒律に沿った「ハラル認証」